

磐田 NPO 交流センター通信

交流フォーラム2002

十月二十日(日)午後一時三十分から磐田市と磐田NPO活動推進協議会の共催で交流フォーラム2002「まちづくりサポーターとともに」が磐田NPO交流センターで開催されました。まちづくりサポーター二十五名、一般市民や市民活動団体関係者ら総参加者五十五名によりこれからのサポーター制度のあり方について意見交換が行われました。



基調講演 田中孝治氏



ネームプレートの交付式



交付されたネームプレート



活発な意見交換

アであっても専門性を高め、自分の果たす役割を認識し主体性を持って取り組んで行つてほしい」と強調されました。

■ネームプレートの交付

休憩のあとフォーラムが始まり、磐田NPO活動推進協議会の発案・製作によるネームプレートを市企画調整課長からサポーター一人一人に交付されました。このネームプレートは磐田の

がありました。続いて仕事を依頼する二十一の募集団体から事業、イベントの具体的な内容、日程、期間について説明がありサポーターの関心をひいていました。

■交流会で活発な意見交換

サポーターからは*今後サポーター同士の交流を深める事が大切*サポーターの研修の場が欲しい*イベント当日だけのお手伝いだけではなく企画段階から参加出来たらいい*名札だけでは判りにくいのでTシャツなどがあると動く宣伝で効果が大きい*サポ

が約束されました。

■これからのまちづくりへ

磐田NPO活動推進協議会では、まちづくりサポーターには、潜在的なまちづくりに関心がある人たちの存在として期待していましたが、制度がスタートして十ヶ月、いっしょに参画してほしいと願うNPO・ボランティア・市民には、情報が不足しており、サポーターの数も依頼もなかなか増えないという状況を痛感していました。交流フォーラム開催に向け、事前に市とサポーター有志と数回の意見交換の中で、

■サポーターは専門性を高め、主体性を持つ

「これからの地域づくり」と題して基調講演したNPO法人地域づくりサポートネットの田中孝治副代表理事は「地方分権は住民自治の実践としての担い手たる住民の活動・活躍に期待するところが大きい。さらなる分権改革が必要な今、合併でまちが大きくなればなるほど、これまでのモタレアイ(依存)の連鎖関係を断ち切って、行政と住民とのコミュニケーション充実のための議論が必要になってくる。ボランティア

まちを象徴する「とんぼ・国分寺・見付学校・くすの木・サッカー」をイラスト風にデザインしています。一人でも多くのサポーターがこれからの活動で活用してもらい、サポーターとしての自覚とPRに役立てて欲しいとの思いがこめられた逸品でした。

■活動報告と依頼

サポーターからこれまでの活動報告と仕事を依頼した側の代表者の発表が行われ、依頼者は、サポーターの意識の高さ、積極的な行動力を評価し、双方より企画段階からの参加を望む声が

ターのサポーター(専門性のある人の発掘、仕事を取って来る、広報活動をする)を導入出来たらよい*近い将来サポーターによる手作りの事業が出来るとよい。などの意見があり、これらの意見を受けて、事務局の市企画調整課から

*定期的な交流会の開催*積極的な情報提供*サポーター(十月現在七十名の登録)拡大のためのPR活動の推進

まちづくりサポーターとともに開催

ープの仲間づくりへの思いが一つになった記念すべき日でした。今回のフォーラムをきっかけに市民活動団体・サポーター同士の顔を合わせる機会を重ね、いろいろな年代から多くの仲間づくりが出来たらよいと思います。あなたも仲間になりませんか。
(まちづくりサポーター1002)
伊藤 勝

平成十五年二月八日(土)
第二十五回静岡県ボランティア
研究集会在磐田市で開催

活かそう君の力！
〜共に生きるまちづくり〜

二十五回の歴史を数える県ボランティア研究集会(主催: NPO法人静岡県ボランティア協会・社会福祉法人静岡県社会福祉協議会)が静岡県立神岡大学を会場に開催されることになりました。中遠地域の市町村(浜北の方もいます)のボランティア団体や社会福祉協議会の方に混じって我が磐田NPO活動推進協議会からも実行委員を輩出し、計十回にわたる実行委員会で開催案内文や下に分かれる分科会の内容まで、本当に細やかに皆さんで意見を出し合って作り上げています。分科会の内容は、子育て支援・障害者支援・高齢者支援・地域づくりまちづくり・災害・NPO・環境・こころ・若者、青年・シニアとなっていますが、実行委員の皆さんは各々がその思いの部分で、真剣に話し合っていて、同じ実行委員として参加している私は、改めてボランティアをされる方々の誠実さを感じています。

実行委員長の磐田ボランティア推進連絡協議会の堀内由紀代さんは、「あらっ!と思うような活動が身近なところで行われています。活動に親しみ、活動をしている方々との出会いを見つげに気軽にお出かけください。」とおっしゃって

第25回 県ボランティア研究集会第7回実行委員会



まちづくりの現場から

います。

当日は、十時より開会し、午前中は、静岡県立神岡大学大坪学長と島田市でアファガニスタン復興支援をされているNGO・カレド氏の会レシヤード・カレド氏のトークセッション。午後は分科会・その後、交流会となります。

どちらかという福祉の分野の内容と思えますが、「ちよボラ」なことであるように、まちづくりの原点にある「やさしさ・思いやり」といった感覚があふれた大会になると思えます。興味のある方参加してみたいかがでしようか。(参加費がかかります。)

また、これについての詳しい案内・開催後の報告は、社協だよりまたは、いわたボランティア情報に掲載される予定です。

問い合わせ・磐田市社会福祉協議会 TEL(三七) 四八二四 (まちづくりサポーター一〇六六 村上 浩)

みんなおいでよ
こどもは遊びの宝島!

磐田市「子どもにやさしい街づくり推進会議」は、十月二十七日(日)に冒険キッズの宝島を、同市鎌田の兎山公園で開催し、約二千人の参加者で賑わいました。磐田市が児童たちの健全育成を目指して毎年実施しているもので、今年で九年目になります。

出生率の低下、核家族化の進行等により児童が仲間を通じて多様な人間関係を体験する機会が減少している中で、児童に遊び場を提供し仲間同士が触れ合うことを目的とした事業の一環として計画されたものです。

当日は好天に恵まれ各種団体が、工夫を凝らした遊びやゲームで会場を盛り上げました。見付地区子



風船パフォーマンスに夢中

ども会の児童による開会宣言には感心しました。立派な態度は感動すら覚えます。

市の福祉課が実施した「兎山ウォークラリー」「ザリガニ釣り」はボランティアで運営。

しぜん観察広場のコーナーで神明中学三年の萩田正幸君(二四)は、「ザリガニ釣りは自分もやってみた。結構楽しい」と笑顔で奉仕活動に協力していました。

実行委員を代表して主催者側の、同市福祉課係長・鮫嶋篤克さん(四九)は今後の抱負を次のように語りました。

「今年も神明中学から三十人のボランティアの協力や各団体関係者の皆さんの努力によって、楽しい会場になったことを感謝しています。今回は新しい会員も増えました。手作りの良さを実感しこれからは、子供たちとの交流の場を設定していきたいと思えます」。

親子とのふれあい、新しい仲間との交流は午後三時まで続きました。

恵まれた自然の中でゲームや競技にチャレンジしみんなでの運動を盛り上げていることは、素晴らしいことです。いつまでも続くイベントであることを願っています。

(まちづくりサポーター一〇六六 斉藤直美・一〇三〇中村通孝)

「冒険キッズの宝島」

主催 磐田市・子どもにやさしい街づくり実行委員会

実行委員会・参加団体(順不同)

磐田市子ども会世話人連合会・ボーイスカウト磐田地区・ガールスカウト磐田地区・にんぎょうの会・民生委員児童委員協議会(児童福祉部会)・主任児童委員・磐田地区防犯協会連合会・磐田市地域安全推進員会・三喜会・兎山を守り育てる会・育児サークル「かわばたもろっ子」

協力団体 磐田市立神明中学校



人気の変り種目自転車



磐田市子ども会世話人連合会

代表 木藤 明彦 (きとう あきひこ)
事務局 磐田市役所 生涯学習課
 TEL (三五) 四三二二五

設立 昭和三十三年六月

構成 育成者 約二百十名
 子ども 約四千二百名

活動目的

地区あるいは単位子ども会活動への支援や子ども会活動の健全育成を目的として、子ども同士の交流・子どもと育成者との交流・子ども会と地域との交流・子ども会相互の情報交換・育成者相互の情報交換・子ども会活動推進のための研修会などを開催しています。



市子連「チャレンジランキング大会」

活動内容

・救急法実技講習会・広報誌「いわたっこ」発行・球技大会・「冒險キッズの宝島」参加協力・ジュビロカップドッジボール大会・子どもかべ新聞展示会・インリーダー研修会・新世話人研修会・県子ども会連合会各種事業に参加

参加・協力方法
 子どもたちだけでなく、おとなも様々な経験や体験が大切です。できるだけ参加協力しましょう。

財団法人 オイスカネット支部 磐田天竜支局

会長 三田 典義 (みた のりよし)
事務局 磐田市見付河原町
 四二〇〇一三
 TEL (三五) 三七九四

支局設立 昭和四十三年六月一日
支局会員 四十八名

主たる活動

◎ 緑を育てる
 ・国内でのボランティアイベント「山・林・SUN」植林体験に参加する。
 ・海外の植林活動（「子供の森」計画）を支援する。
 ◎ 人を育てる
 ・国際協力ボランティアになる。
 ・本部や研修センターのボランティアになる。
 ◎ 回を育てる
 ・農業技術習得、環境問題への取り組み、海外研修生との交流や国際理解に関心のある方を対象とし

ての農業体験ボランティアになる。
 ・農業、林業等の技術を活かし、海外の地域発展に熱意を持って取り組む経験豊かなシニアボランティアになる。

◎ 友情を育てる
 ・国内外各地での講演会やイベントに参加する。

参加・協力方法
 最寄りのオイスカネットワークまでお問い合わせください。

会費

法人会費 入会金一〇〇〇〇円
 年会費四〇〇〇円
 個人会費 入会金 五〇〇〇円
 年会費二〇〇〇円

パシフィックフロラ2004「チーム2004」

磐田地区世話人

事務局 鮫島 義隆 (さめじま よしたか)
 磐田市下岡田二三七一
 TEL (三五) 九八八一

設立 平成十年三月

構成
 静岡県下全域に会員がいます。現在約百九十名。磐田、豊田に十三名（男三名、女十名）。さらに今年度も新規会員研修中です。（静岡県で実施）

活動目的・内容

二〇〇四年に浜名湖で開催される「静岡国際園芸博・パシフィックフロラ2004」（浜名湖花博）のボランティアリーダーの会です。

パシフィックフロラ2004 磐田地区世話人会



花博開催前は、PR活動や会員相互の研修、親睦活動が主です。

二〇〇四年花博開催中は、ボランティアリーダーとしてたくさんのボランティアをリードして浜名湖花博の円滑な運営に中心的役割を果たします。

花博終了後は、会場跡地の記念公園の管理を担当する予定です。

今年の磐田地区PR活動は、「磐田産業祭」「SBS住宅センターフットショー」「JA遠州中央トンボ農業祭」に参加します。

景観づくりの会

代表 橋本 茂 (はしもと しげる)
連絡先 オズ設計・村上
 TEL (三三) 三二一五

設立 平成十二年十一月

構成 三十名
 (男二十五名・女五名)

活動目的・内容

放っておくとまちの雰囲気をつくる良い建物などは壊されていき、無秩序な景観が立ち並びます。まちづくりを景観という視点から考えていこうと静岡県建築士会の五十周年と東海道四〇〇年祭をきっかけに設立しました。昨年は、建築士の有志が事務局をしておりますが、今年は、市が事務局となり見付地区を重点地域として毎月例会を開催し、現状のまちの様子から課題となることなどが話し合っています。今後、景観形成へのルールづくりまで地域のみなさんの意見を集約できればと考え活動しています。

会費等
 参加資格や制限などありません。また、現在会費等もありません。

参加・協力方法
 磐田らしい見付らしいまちなみに関心・興味のある方、歓迎します。連絡ください。



景観づくりの会「見付タウンウォッチング」

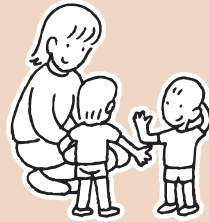
戦後、日本の社会システムは、行政の保護と規制のもとで、さまざまな社会サービスを発展させてきました。行政が、サービスの質や内容を決定し、その財源を保障し、その事業分野への参入を規制して団体を保護するというものでした。たとえば、福祉の分野では、老人介護や保育などといった社会サービスは、社会福祉事業法で事業内容を決め、政府の認可のもとにおき、それを社会福祉法人に独占させ、措置費や補助金でその財源を政府が提供してきたのです。



What's NPO?

このような社会システムは、社会サービスを政府の規制や管理の下にしている結果、多様化する利用者のニーズや変化する社会環境に十分対応できなくなってきました。また、利用者が様々なサービスの中から自分にあったサービスを自由に選択することが

できないような仕組みとなっていました。さらに、競争がないことなどから、サービスの提供コストが膨れ上がりが、行政の財源ではまかないきれないという状況にもなっています。



このような状況を克服し、社会サービスを改革するために期待されたのがNPOです。ここでは、単なるサービスを提供する団体としてのNPO（法人）が必要とされたわけではありません。利用者がほんとうに必要としている事に柔軟に対応できる機関としてのNPOの確立と、自由に多様な社会サービスが提供できるための参入規制の撤廃と、それを支えることができる、民間を中心とした、新しい財源供給システムの創造という、一連の社会システムとしてのNPOシステムを作っていくことが大切なのです。

INFORMATION

NPO法人磐田ふれあい基金協会 新事務所落成式

主催 NPO法人磐田ふれあい基金協会
日時 平成十四年十二月二十三日(月)

開催場所 磐田市西貝塚五五七―五(磐田駅南口道路東へ約一・五キロ)

内容 当協会の新事務所が完成します。今後、民設民営のNPO・ボランティア活動の拠点として諸団体及び広く一般にご利用いただきたいと思います。

問合せ先 磐田ふれあい基金協会 三五―六五五九 磯部まで

子どもかべ新聞展示会

主催 磐田市子ども会世話人連合会
日時 平成十五年一月十九日(日)から一月二十六日(日) 最終日十五時まで

開催場所 磐田市立図書館(展示室)

内容 市内子ども会の今年度の活動を子どもたちの手づくりで新聞にし、展示します。その他子ども会活動体験なども紹介します。

問合せ先 市生涯学習課
三五―四三二五 近藤まで

第二十九回ファミリーフェスティバル

主催 磐田市青年団連絡協議会
日時 平成十五年二月二日(日) 九時から十五時

開催場所 今之浦市有地
内容 暖かな磐田に百トンもの雪山のプレゼント!今年は「移動動物園」がやってきます。「チビっ子のど自慢大会」も開かれます。家族みんなで楽しんでください!

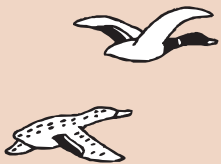
問合せ先 磐田市青年団連絡協議会
三八一―〇七〇 川手まで

冬の野鳥観察会

主催 桶ヶ谷沼をを考える会
日時 平成十五年二月

開催場所 桶ヶ谷沼
内容 冬の渡り鳥の観察(コハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモなどのカモ類とミヤマホウジロなどの山の鳥が見られます)。

問合せ先 トンボハウス
三七―三八八八 北川まで



編集後記

交流フォーラムの準備でセンター通信第五号はあわただしい中での取材編集となりました。フォーラムでは、まちづくりサポーターの方々の熱い志を感じました。サポーターの皆さんと依頼者側の交流の場を設けたことで、直接顔が見える状況での話し合いができ、活動の実践へとつながると期待しています。活動の実践が、信頼、信用、自信となっていくと思います。(村上)



フォーラム準備会

- 磐田NPO交流センター通信 第五号 平成十四年十二月一日発行
- 発行者/磐田市総務部地域振興課 千四三八―八六五〇
- 磐田市国府台三一― TEL(〇五三八) 三七―四八二一
- 編集/磐田NPO活動推進協議会 千四三八―〇〇七八
- 磐田市中心一―二一四 TEL(〇五三八) 三六一―八九〇